

今注目される“お口の育ち”の新常識

口腔機能発達不全症

口の発達は

体の軸から始まる

第8回
POPS
特別例会

POPSテーマ

近年、「お口ポカン」「噛まない」などの口腔機能に関する悩みが増加しています。
むし歯の数は減っているのに、歯並びの乱れや食べる機能の発達に遅れが見られるお子さんが多くなっているのが現状です。こうした問題の背景には、胎児期からの「体の軸（体幹）」の育ちが大きく関係している可能性があることをご存知でしょうか？

Topic 1 乳児期までの体幹の発達が口腔機能を左右する

体の軸は、胎児期～乳児期にかけての触覚や視覚、全身運動の経験を通して育まれます。
この軸が整い、頭位が安定した環境下でこそ、舌や顎の動きがスムーズになり、「食べる」ための準備が整うのです。

Topic 2 子どもから高齢者まで広がる“お口と体幹”の関係

お口の機能は、高齢者のフレイル（虚弱）予防にも深く関わっています。
厚生労働省も、乳幼児期からの口腔機能の獲得が重要であると発表しており、「食べる」「話す」などの機能は子どもから大人まで“体の軸”と密接に連動しています。また、保険診療においては「口腔機能発達不全症」の対象が離乳前から管理可能に拡大され、早期からの支援・介入が実現可能な時代になりました。

—— 口腔機能は、子どもから高齢者までの健康に直結 ——

- ✓ 厚生労働省も乳幼児期からの口腔機能獲得の重要性を提言
- ✓ 高齢者のフレイル（虚弱）予防にも口腔機能の維持が欠かせません
- ✓ 保険診療においても、口腔機能発達不全症の対象が離乳前から拡大され、早期介入が可能に



「どう支援したらいいかわからない」から「なるほど！」へ

この講演では、

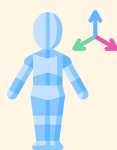
- ✓ お口の機能はいつ・どのように育つのか
- ✓ 体の軸とどう関わっているのか

という基礎をわかりやすく紐解きながら、実習を交えて具体的な支援方法を学びます。

発達段階に応じた
サポートの考え方



お口の育ちを助ける
体の軸へのアプローチ



食べる・遊ぶ・学ぶ力を支える
身体づくりのヒント



歯科関係者だけでなく、子どもに関わる全ての方へ。



この講演は、歯科医師・歯科衛生士をはじめ、歯科助手・管理栄養士・栄養士・保育士など、
子どもの発達に関わるすべての方にとって非常に有益な内容です。
全身の発達を理解し、口腔機能を正しくサポートするスキルを学びましょう。



子どもたちの「食べる」を笑顔につなげる第一歩を、
私たちと一緒に踏み出しませんか？

医療法人西川歯科

ニシカワ タカヨシ

理事長 西川岳儀



大阪府豊中市開業

略歴

2003年 岩手医科大学 歯学部卒業
2003年 久保田歯科クリニック勤務（大阪府高槻市）
2007年 医療法人西川歯科勤務
2014年 医療法人西川歯科理事長
2015～2020.5 一般社団法人豊中市歯科医師会理事
2016年 矢吹産婦人科と連携
2021年 大阪医専 非常勤講師

著書

2015年 人生が変わる「足指スローストレッチ」
実業之日本社
2017年 人生が変わる「足指スローストレッチ」
中国語版 台湾にて発売
2018年 実践早期治療 クインテッセンス
2019年 子どもの口腔機能を育む取り組み
クインテッセンス

医療法人西川歯科

▼で検索▼

医療法人西川歯科



2026 1.25日
10:00 - 16:00

場所 タカラベルモント TB-SQUARE osaka
〒542-0082 大阪府大阪市中央区島之内2丁目13-22

連絡先 06-6947-7118 POPS研究会事務局

＼お申し込みはこちら／